



こんにちは、岡田よしひでです

2022年1月16日発行
県議会活動報告ニュース
NO.110

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

12月定例会報告 代表質問に立つ

県議会12月定例会は12月24日、補正予算案など知事提出議案22件、請願4件を採決し、閉会しました。

今回の補正予算案は、2025年（令和7）供用開始に向けて佐川町に建設される新たな管理型産業廃棄物最終処分場の整備事業費が主なものです。ちなみにこの施設の総事業費は99億9千万円で、国・財団が11億2千万円負担、残りは県が2分の1（44億3500万円）、高知市が3分の1（29億5700万円）、市町村（佐川町を除く）が6分の1（14億7800万円）の費用負担となっています。また、南国日章産業団地の県有財産処分に関する議案が提出されました。製造業又は流通業を対象に全7区画の分譲公募が始まっています。



日本共産党の代表質問（12月14日）

ます。公害を発生させず、南国市と環境協定を締結できる者とされています。

日本共産党は補正予算案に賛成し、条例議案1件に反対しました。反対したのは「公立学校の教職員の給与その他の勤務条件の特別措置に関する条例の一部を改正する条例議案」です。これは、教員の働き方を1年を通じて調整しようとするものです。しかし、1学期の超過勤務の代休を夏にとるのでは、いそがし過ぎる先生の体を持ちません。労基法に抵触するおそれもあります。働き方（働かせ方）を言う前に、教壇に立つ先生の数を増やすことが求められています。この条例議案には反対しましたが、他会派の賛成多数で可決されました。

また、「すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるための請願」「教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める私学助成の請願」は、私たちは採択の意志を示しましたが、自民公明などにより不採択となりました。

意見書議案では、共産党と県民の会が共同提出した辺野古新基地に「沖縄戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書議案」が自民公明などの反対で否決されました。沖縄では一般住民を巻き込んだ地上戦が行われ尊い命が奪われました。とりわけ沖縄南部

は激戦地となり多くの御霊が眠っています。いまだ3千人ともいわれる遺骨収集は終わっておらず戦没者を冒瀆し、遺族の心情を踏みにじるものです。摩文仁の平和の礎（いしじ）には本県出身者1008名の名が刻まれています。

南国市の成人式

南国市で3日、成人式が午前と午後に分けて開催され、私は来賓として出席しました。昨年は新型コロナウイルス感染症のため開催できませんでした。

今年の式典は30分の簡素なものでしたが、小・中学校の先生が出席。各学校の先生方のビデオメッセージでの祝福と激励には歓声が上がりました。



南国市立スポーツセンター

おむすび通信 (110)

高知県でも新型コロナウイルスのオミクロン株が確認されました。重症化率は低いといわれますが、基礎疾患がある人は気を付けなければなりません。沖縄県では米軍由来の感染が急拡大。何のチェックもできず、米軍の説明を聞くだけの政府では命は守れません。